

2023 年漁業センサス 海面漁業調査（漁業経営体調査）確報 —高知県分—

漁業センサスは、漁業の生産構造及び就業構造並びに漁村及び水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに、水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的に、5年ごとに実施しており、今回で15回目になります。

当調査は、海面漁業調査、内水面漁業調査及び流通加工調査から構成され、海面漁業調査のうち、県と市町村を通じて実施した「漁業経営体調査」の本県分についてとりまとめました。

【調査の対象】

本県では沿海の19市町村に所在する海面漁業経営体のうち、過去1年間に利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯又は事業所が対象です。

ただし、過去1年間における漁業の海上作業従事日数が30日未満の個人経営体は対象外です。

- 本県においても、全国と同様、漁業経営体数（△254）、漁業就業者数（△673人）及び漁船の隻数（△455隻）のいずれも、減少している。
- 漁業就業者を年齢階層別にみると、全国・本県ともに全ての年齢層で減少しているが、本県は「65～69歳」の階層での減少率が一番大きい。
- 新規就業者数については、全国・本県ともに増加しており、本県の前回比（+9.2%）は、全国（+8.4%）を上回っている。
- 販売金額規模別の経営体数をみると、全国・本県ともに前回比が最も増加しているのは、「10億円以上」の経営体である。

概 況	R5 (全国順位) (39都道府県中)	H30	増減数(R5-H30)	前回比(R5/H30)
○ 漁業経営体数	1,345 (19位)	1,599	△254	△15.9%
○ 漁業就業者数	2,622人 (19位)	3,295人	△673人	△20.4%
・ 前回比が最も減少「65～69歳」	299人	536人	△237人	△44.2%
・ 構成比の割合が最も多い「75歳以上」	R5 構成比 15.4% (H30 構成比 13.8% 前回差+1.6ポイント)			
○ 新規就業者数	71人 (8位)	65人	+6人	+9.2%
○ 漁船の隻数	2,069隻 (21位)	2,524隻	△455隻	△18.0%
○販売金額規模別経営体数				
・ 前回比が最も増加 「10億円以上」	11	7	+4	+57.1%
・ 前回比が最も減少 「1百万円以上 5百万円未満」	381	543	△162	△29.8%
・ 構成比の割合が最も多い 「1百万円未満※」	R5 構成比 34.4% (H30 構成比 31.1% 前回差+3.3ポイント)			

※「1百万円未満」は「販売金額なし」を含む。

＜参考＞ 全国値（39 都道府県）

	R5	H30	増減数 (R5-H30)	前回比 (R5/H30)
○ 漁業経営体数	65,662	79,067	△13,405	△17.0%
○ 漁業就業者数	121,389 人	151,701 人	△30,312 人	△20.0%
・ 前回比が最も減少「65～69 歳」	14,079 人	21,115 人	△7,036 人	△33.3%
・ 構成比の割合が最も多い「75 歳以上」 R5 構成比 14.9% (H30 構成比 13.7% 前回差+1.2ポイント)				
○ 新規就業者数	2,019 人	1,862 人	+157 人	+8.4%
○ 漁船の隻数	109,283 隻	132,201 隻	△22,918 隻	△17.3%
○ 販売金額規模別経営体数				
・ 前回比が最も増加 「10 億円以上」	152	127	+25	+19.7%
・ 前回比が最も減少 「1 百万円以上 5 百万円未満」	21,731	27,760	△6,029	△21.7%
・ 構成比の割合が最も多い 「1 百万円以上 5 百万円未満」	R5 構成比 33.1% (H30 構成比 35.1% 前回差△2.0ポイント)			